

支部長各位

「下関市立大学創立60周年記念事業」に関する注意喚起（2017.1.24）の記事を同窓会ホームページに掲載しておりますが、本年1月中旬頃から、卒業生のところへ「60周年記念冊子および広告掲載料の寄付、負担依頼の文書が送られてこられたり、電話を架けてきたりしている事実が判明いたしました。

ご存知の通り、「下関市立大学創立60周年記念事業」は昨年6月4日に開催されており、記念冊子も発行済み、広告も地元の新聞社「山口新聞」に掲載しております。従って、今更大学・同窓会において寄付・広告を募ったりすることはございません。また記念事業につきましては、実行委員会を設置し、記念事業に掛かる費用を予算化して対応している為、卒業生に寄付等をお願いすることはありません。

つきましては、各支部の会員にその旨伝えて頂くようお願いいたします。またこれに関して情報が入りましたら、同窓会センターにご一報ください。

*現在判明しているのは、有限会社佐賀共同企画（実在する）が、担当者は市大の卒業生と名乗っているようですが、卒業生名簿では確認できなかった。只、この業者について「寸借詐欺のような業者」との投稿がされている。

また西日本スポーツ新聞へ広告掲載を勧誘する電話も市大だけでなく、近隣の大学の卒業生に対しても相次いでいるとの情報もあります。ここについては、「なつかしのわが友、わが恩師」「母校を励ます」「5年ごとに掲載している」等との言葉を口にして、断らなかつたら有限会社佐賀共同企画から振込案内の書類が送られてくるようです。

下関市立大学も同窓会もこのような企画に関わっておりませんので、電話の段階ではっきりと断り、もし振込案内書類が届いた場合は必ずキャンセルの連絡されることをお勧めします。

下関市立大学同窓会センター
センター長 田中 道成

2017.1.31